

7 エリア別ビジョン

▼ エリアマップ



秋谷・久留和エリア

逗子・葉山から連続した海岸線の景色を楽しみながら、店舗ごとに展開される食事やサービスを堪能してもらえるエリアです。



相模湾沿いの秋谷・久留和エリア

現状

<土地利用に関すること>

- 国道134号沿い、特に立石公園周辺には飲食店が立地しています。店舗販売と併せて通販を行っている店舗もあります。
- 国道134号沿いや山側の住宅地には、別荘が多く建ち並んでいます。

<観光に関すること>

- 国道134号沿いからは相模湾を一望でき、富士山や江の島を望むことができます。また、長者ヶ崎、立石公園は「かながわ景勝50選」にも選ばれています。
- 立石公園への来訪者満足度は高く、再訪意向や推奨意向が高いです。
- 久留和、秋谷などで横須賀エコツアーが実施されています。
- 長者ヶ崎周辺ではシーカヤックを楽しむことができます。
- 公共交通は、路線バス、高速バス、タクシーのみで、来訪者の多くが自家用車を利用しています。
- 周遊きっぷは人気で、年々発売枚数が増えています。
- 海の見える宿泊施設は人気で、ハイシーズンの土休日は満室となっています。

課題

<土地利用に関すること>

- 長者ヶ崎周辺は、市街化調整区域であるため、既存宿泊施設等は増築ができません。

<観光に関すること>

- 立石公園は、来訪者満足度・再訪意向・推奨意向が高いものの、知名度が低い状況です。
- 夏季には、長者ヶ崎駐車場や立石駐車場が早朝から満車となっています。
- 市街化調整区域の国道134号沿いには建物が建ち並んでいますが、現行の基準で立地できる建物用途・規模には制限があります。
- 景勝地や人気の飲食店があるものの、エリアで体系的なPRに欠けます。
- 周遊きっぷは人気ですが、対象区域は西地区の一部であり、市内での利用者は少ない状況です。
- 海の見える宿泊施設は人気ですが、周辺地域の周遊ルートを提案できていません。

柱1 方向性1 拠点を中心とした事業展開

- ①長者ヶ崎、立石公園は西地区を代表する景勝地としてふさわしい維持管理の継続
- ②長者ヶ崎、立石公園周辺の観光施設の継続・拡大

具体的な取り組み:立石公園の維持管理(既存施設の活用)、西地区海岸周辺における用途地域等見直し事業

柱2 方向性2 快適な日常生活・観光を支える環境づくり

- ①秋谷の丘陵部や海岸沿いの住宅地におけるみどり豊かな落ち着いた住環境の保全
- ②相模湾を望める国道134号沿道における美しい景観が楽しめるエリアづくり

具体的な取り組み:良好なまちなみの保全

柱2 方向性3 食を活かした取り組みの推進

- ①相模湾を望む景観と店舗ごとに展開されるメニューを楽しめる店舗の誘致・継続

具体的な取り組み:地産地消の魅力を活かした飲食の提供

柱2 方向性4 体験型・交流観光の推進

- ①富士山を望む秋谷・久留和の自然海岸や大楠山のみどりを背景に行う体験・交流観光の推進

具体的な取り組み:横須賀エコツアー推進事業、質が高く人気のある体験型観光などの企画提案

柱3 方向性5 戦略的なブランドイメージの構築

- ①富士山、江の島等を望む相模湾沿いの眺望、自然海岸の散策に「+α」したブランドイメージの構築
- ②周遊きっぷ利用者も楽しめる観光ルートの検討

具体的な取り組み:キャッチフレーズを用いた情報発信、周遊ルートの創出

柱3 方向性6 戦略的なブランドイメージの発信

- ①富士山、江の島を望む相模湾沿い等のビジュアルを活かしたエリア一体での情報発信

具体的な取り組み:SNSの活用など様々な媒体による情報発信

柱3 方向性7 広域観光体制の提案

- ①近隣市町及び民間事業者と連携による観光ルートや観光メニューの検討・開発

具体的な取り組み:三浦半島の近隣市町との連携による広域周遊を意識したルートの創出



現状図



01 長者ヶ崎



長者ヶ崎は「かながわ景勝50選」に選ばれている景勝地で、周辺には大規模な駐車場があり、周辺にはおしゃれなカフェテラスや宿泊施設があります。

02 立石公園



歌川広重も描いた秋谷の立石は「かながわ景勝50選」に選ばれている景勝地で、立石公園隣接地には県営駐車場があり、周辺にはおしゃれな飲食店があります。

03 住宅地



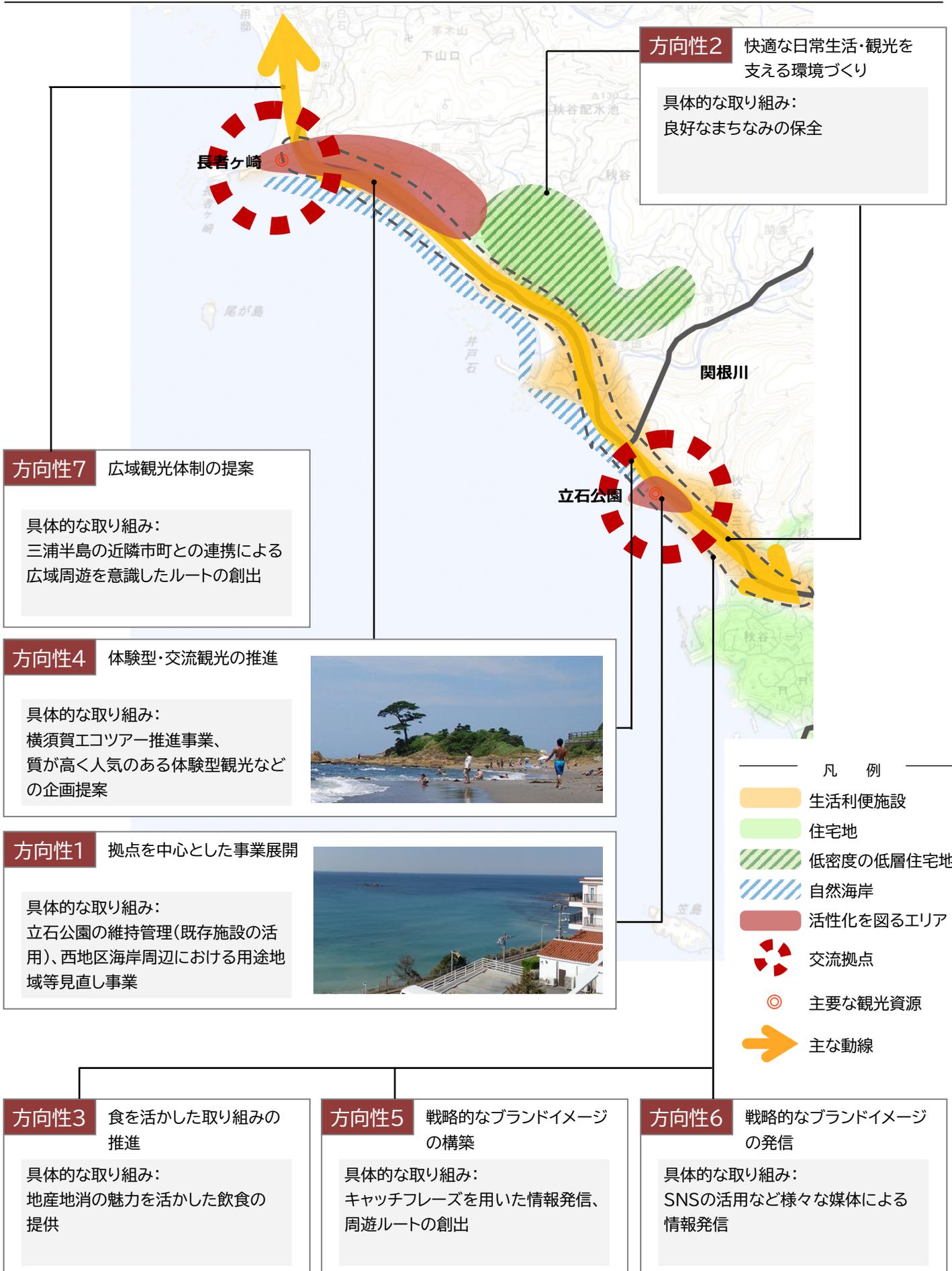
秋谷の丘陵部からは相模湾を望むことができる場所があります。低層住宅と別荘が建ち並んでいることから、リゾート感のあるまちなみが形成されています。

04 店舗・宿泊施設



国道134号沿いは、長者ヶ崎周辺を除いて第1種住居地域であり、相模湾を望む景色が美しいことから、すでに店舗や宿泊施設が立地しています。

将来像図



佐島エリア

隠れ家的な佐島で目の前に広がる海の景色を見ながら
新鮮な海産物やマリンレジャーを楽しんでもらえるエリアです。



現状

<土地利用に関すること>

- 海沿いには別荘が建ち並び、リゾート感のあるまちなみが形成されています。
- 秋谷1丁目、芦名1丁目、佐島1・2丁目、佐島の丘には低層住宅地が広がっています。

<観光に関すること>

- 佐島漁港周辺には、佐島漁港のほか、佐島マリーナ、天神島臨海自然教育園(佐島公園)があります。
- 佐島環状線沿いは堤防が低く眺望が楽しめ、冬には富士山がきれいに見えます。
- 公共交通が限られるため、来訪者の大半が自家用車を利用しています。
- 佐島はタコ・シラスが名産で「かながわブランド」に認定されており、新鮮な海産物を購入できます。
- 天神島入口には、地産地消にこだわった飲食店が立地しています。
- 「天神島、笠島及び周辺水域」は、県の名勝に指定されており、自然環境の保全と自然観察・環境学習の場が提供されています。
- 佐島は、西地区の幹線道路である秋谷林線から外れているため、来訪者に「隠れ家的な雰囲気」、「小旅行感」を感じてもらえるエリアです。
- 大楠山入口交差点周辺は、都市機能誘導区域に指定されており、生活利便施設の立地を目指しています。

課題

<土地利用に関すること>

- 佐島マリーナは老朽化により建替えが検討されていますが、現況の用途地域では建替えができません。
- 佐島漁港は老朽化の問題に直面しているため、施設の建替えと共に漁港の活性化についても検討されており、その中で加工場を求める声がありますが、現況の用途地域では建築することができません。

<観光に関すること>

- 佐島地域の人口減少率は市全体よりも高く、高齢化率も高いです。
- 災害時の避難経路が来訪者に周知されていません。
- 佐島漁港の水揚量は平成21年以降減少しています。
- 佐島漁港には来訪者を迎え入れる施設がありません。
- 佐島漁港ではかつて朝市が開催されており、人気でしたが長期休止中です。
- 佐島漁港周辺には地域資源と言える施設が集まるものの、エリア内を周遊するルートは確立されていません。
- 佐島漁港周辺で海産物を買いたい求めていることはできますが、来訪者が立ち寄れる店舗の選択肢が少ないです。
- 佐島環状線の幅員が狭く、公共交通によるアクセシビリティが脆弱です。
- 坂本芦名線は、佐島の丘通り線との結節点～芦名橋の区間が未整備です。

柱1 方向性1 拠点を中心とした事業展開

①佐島漁港を中心に海産物を味わえ、マリレジャーを楽しめるまちづくりの推進

具体的な取り組み:佐島漁港本港地区活性化検討事業、西地区海岸周辺における用途地域等見直し事業

柱2 方向性2 快適な日常生活・観光を支える環境づくり

①佐島1・2丁目、佐島の丘を中心とした内陸側の落ち着いた住環境の保全

②天神島を中心とした海沿いの美しいまちなみの保全

具体的な取り組み:良好なまちなみの保全

柱2 方向性3 食を活かした取り組みの推進

①佐島漁港で水揚げされた新鮮な海産物を現地で味わえ、来訪者が購入できる機会づくり

具体的な取り組み:地産地消の魅力を活かした飲食の提供

柱2 方向性4 体験型・交流観光の推進

①マリレジャーを多くの来訪者が楽しめるしくみづくり

②天神島臨海自然教育園でのノウハウを活用した佐島漁港周辺施設における海の見学会や体験学習の実施

具体的な取り組み:質が高く人気のある体験型観光などの企画提案

柱3 方向性5 戦略的なブランドイメージの構築

①佐島名産のタコ・シラスと漁港周辺の別荘地の景観をセットにしたブランドイメージの構築

②佐島漁港周辺施設(マリーナ・飲食店)利用者を軸とした観光ルートの検討

具体的な取り組み:キャッチフレーズを用いた情報発信、周遊ルートの創出

柱3 方向性6 戦略的なブランドイメージの発信

①佐島漁港及び周辺施設の景観と食事・商品をあわせたビジュアルでの情報発信

②佐島漁港周辺の飲食店・直売所が一体となった情報発信やイベント企画

具体的な取り組み:SNSの活用など様々な媒体による情報発信

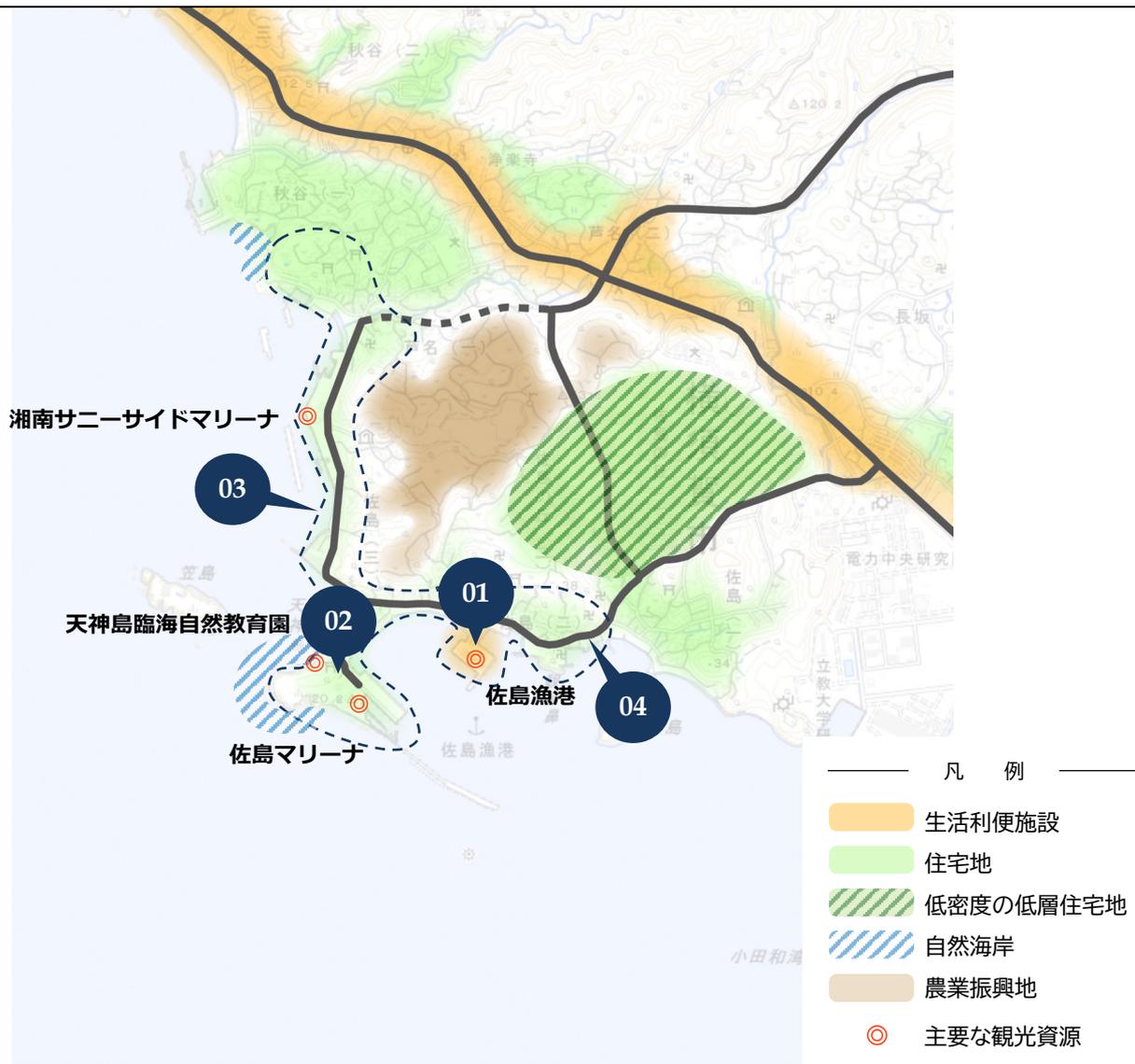
柱3 方向性7 広域観光体制の提案

①近隣市町及び民間事業者と連携による観光ルートや観光メニューの検討・開発

具体的な取り組み:三浦半島の近隣市町との連携による広域周遊を意識したルートの創出



現状図



01 佐島漁港

佐島漁港は、タコ・シラスが名産で「かながわブランド」に認定されており、漁港周辺では新鮮な海産物を購入できます。



02 天神島臨海自然教育園

天神島・笠島は県の名勝に指定されています。天神島にある「天神島臨海自然教育園」のビジターセンターでは、天神島の動植物の標本や写真、佐島の漁労用具などが展示されています。



03 佐島環状線沿い北側

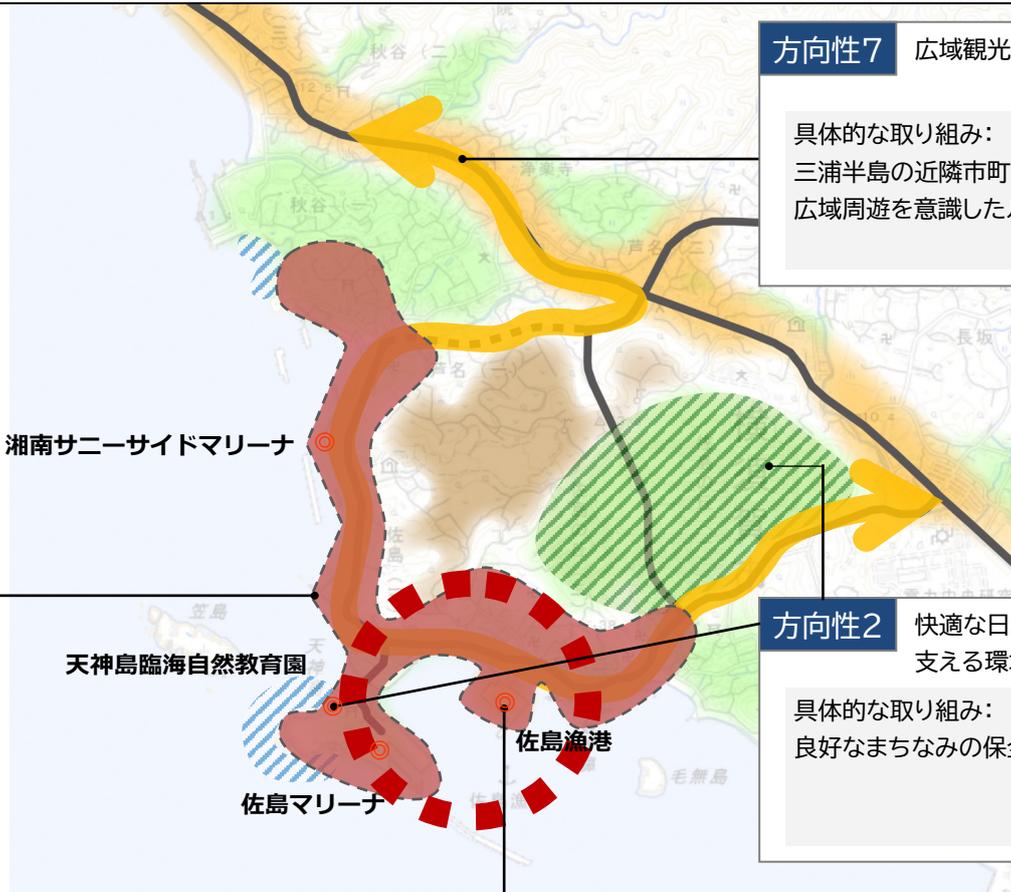
海沿いの道路、佐島環状線沿いには別荘が建ち並びリゾート感のあるまちなみが形成されています。



04 佐島環状線沿い南側

釣り船屋や海産物のお土産を売る店舗が建ち並んでいます。

将来像図



方向性7 広域観光体制の提案

具体的な取り組み：
三浦半島の近隣市町との連携による
広域周遊を意識したルートの創出

方向性2 快適な日常生活・観光を支える環境づくり

具体的な取り組み：
良好なまちなみの保全

方向性1 拠点を中心とした事業展開

具体的な取り組み：
佐島漁港本港地区活性化検討事業、
西地区海岸周辺における用途地域等
見直し事業



方向性4 体験型・交流観光の推進

具体的な取り組み：
質が高く人気のある体験型観光などの
企画提案

方向性3 食を活かした取り組みの
推進

具体的な取り組み：
地産地消の魅力を活かした飲食の
提供

方向性5 戦略的なブランドイメージ
の構築

具体的な取り組み：
キャッチフレーズを用いた情報発信、
周遊ルートの創出

方向性6 戦略的なブランドイメージ
の発信

具体的な取り組み：
SNSの活用など様々な媒体による
情報発信

- 凡 例
- 生活利便施設
 - 住宅地
 - 低密度の低層住宅地
 - 自然海岸
 - 農業振興地
 - 活性化を図るエリア
 - 交流拠点
 - 主要な観光資源
 - 主な動線